

## 鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 7 月 19 日)

【四】樊遲 稼を学ばんことを請う。子曰く、吾 老農に如かずと。圃を為ることを学ばんと請う。曰く、吾 老圃に如かずと。樊遲 出づ。子曰く、小人なるかな樊須や。上礼を好めば、則ち民 敢て敬せざることを莫く、上 義を好めば、則ち民 敢て服せざることを莫く、上 信を好めば、則ち民 敢て情を用いざることを莫し。夫れ是の如くならば、則ち四方の民、其の子を襁負して至らん。焉んぞ稼を用いんと。

こういうことは沢山ありそうな気がします。樊遲は、孔子より 36 歳若いのです。お年を召した人からみた若いお弟子さんということです。

樊遲というお弟子さんが先生は何でも御承知なので、「ぜひ五穀の栽培の仕方を教えて下さい」とお願いをしました。五穀の栽培の仕方を教えて欲しいとは、枝葉末節ではないか我々は（孔子の中では）基本的なものの考え方を教えているのであって、具体的な食べ物の作り方を教えてくれと言っても教えられるわけがないと思って、孔子は「私はとても歳をとった農家の人には及ばない」と答えました。年配の農家の人には及ばないから、教えることはできないと柔らかく断った。樊遲は「では、畑で野菜を作るのにはどうしたらよいでしょうか」と聞きました。孔子は基本的なものの考え方を覚えなければならないのに、具体的な野菜作りの方法を教えてくれと言うのは、「お門違いだよ」と言うのに同じく「私は野菜の作り方は知らない。詳しいことは専門家にお聞きしなさい。（婉曲に断って）お前は、もう少し勉強をしなさい」と答えました。樊遲は取りつく島が無いから、それで出て行きました。

孔子が樊遲のことを考えて、腹の中ではこいつしょうがないな、細かいことや具体的なテクニックばかり覚えようとする。これではいけない間接的に教えなければと思い、周りのお弟子さん達に孔子が「人物が小さいな樊遲は」と言われました。周りから本人に伝わるように言っています。樊遲は孔子が言った意味をよく理解をしないで出て行ったから、生半可に分かっただけで分かったつもりになっては困るから、他のお弟子さんに対して、我々が学んでいる学問は、政治を司り民衆を指導し治めていく、そういうものを学ぶ学問である。

上にいるものが礼を好んで自分自身の身を保てば、国民が尊敬しないとはあり得ない。上にいる人間が義を好べば、国民は自分の言うことに異を唱えることはない。みんな納得をして動いてくれる。上にいる人間が心の底から真というものを好べば、誰も欺くことはない。結果的に人を騙すことをしなければ、国民は真心をもって対応をしてくれる。自分自身が上にいるのならば、礼・義・真これらを尽くして一所懸命努力をすることによって

下の人や国民達が私を尊敬し、真心をもって言う通りに動こうとする。四方の国民が子供をおんぶしてやってくる。どうして孔子や孔子の弟子達が農業をする必要があるのだろうか。樊遲は政治を司る側に立つべき人物なのに、そういう学問を一所懸命覚えなければならない。リーダーはリーダーらしいことを、また学問を身につけなければならない、ということをお弟子さん達にきちんと伝えて貰いたいものだという風な解釈です。

現代に置き換えると、明らかに上に立つ人間は、リーダーとして傑出してなければならないが、具体的なこと煩瑣なことはやる必要が無い。例えば蛍光灯がチカチカしていれば専門家に直して貰えばよい。自分で直す様なことはしないで、上の人が指示を出せば、まずお金が動きます。資金の流通が良くなるし、それぞれの懐も潤い、動くべき人が動き命令する人は命令する。役割分担をきちんとすべきである。ということは安倍さんの立場でいえば、あまり国会で細々したことをしないで、基本的なことをやればよい。